

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要 (2020 年度)

= 学位授与の方針 (ディプロマポリシー) =

〈人文学部〉

人文学部は、カトリシズムの精神に基づき、人間の人格性を基盤とする学部共通の教養教育と、各学科における高度な専門教育を行い、所定の単位を修得し、次のような力を身につけた学生に学位を授与する。

1. 明瞭な根拠に基づいて理論的に思考し、判断する力を有する。
2. 生涯にわたって、主体的に学び続ける力を有する。
3. 自らの考えを表現するとともに、他者との意思疎通を図ることのできる言語能力を有する。
4. 自らの教養と専門性に基づいて、他者と協調して社会に貢献することのできる力を有する。

〈人間文化研究科〉

カトリシズムの精神にのっとり創設されている長崎純心大学大学院人間文化研究科は、博士前期課程 (前期2年、学位：修士)、博士後期課程 (後期3年、学位：博士) で構成されている。研究分野は文化、福祉、心理、教育・保育の分野からなり、各分野においてその学術理論及び応用実験を攻究し、その成果をもって文化、社会の発展に寄与することを目的としています。

博士前期課程

この目的を達成するための指針

1. 各研究分野における幅広い学問の基礎的能力
2. 高度な専門知識と倫理観をもとにした多角的思考力と分析力
3. 専門領域における問題解決力と専門職としての実践力

これらを身につけた上で修士論文または特定の課題の研究成果の審査及び最終試験に合格したものに、学位 (修士) を授与します。

博士後期課程

この目的を達成するための指針

1. 十分な学術専門知識
2. 新たな知を創造する研究能力
3. 各研究分野における優れた学術的な成果

これらを満たした上で博士の学位論文の審査及び最終試験に合格したものに、学位 (博士) を授与します。

= 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラムポリシー) =

〈人文学部〉

【教育課程の編成】

人文学部では、学位授与方針 (ディプロマポリシー) を達成するために4年間のカリキュラムを「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」の3つの科目群によって編成します。

【教育内容・方法等】

「基礎科目」は、人文学部の全学生に共通の科目群であり、思考力、判断力、表現力の基盤となる教養、外国語の運用力、情報処理能力並びに健康の基礎を身に付けるとともに、地域社会の具体的な課題把握と解決のために主体的に学ぶ力を習得します。授業は、講義または演習形式で行います。

「基幹科目」は、各学科が目指す人材養成の目的を達成するために設けられた専門の科目群で、社会における自立のために必要な力を習得します。授業は、講義または演習形式で行います。

「応用科目」は、広く社会に貢献するために必要となる専門の学芸を知的かつ道徳的に理解し、応用する能力を習得します。授業は、人文学部の全学生が執筆する「卒業論文」の執筆につながる少人数のゼミナールである「専攻演習Ⅰa」「専攻演習Ⅰb」「専攻演習Ⅱa」「専攻演習Ⅱb」で行います。

〈人間文化研究科〉

本研究科では、学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に示した能力を取得させるため、次の

ような体系的な教育課程を編成し、身につけるべき力を定めています。

博士前期課程

1. 博士前期課程には、統合科目、基軸科目、展開科目からなるカリキュラムが設定されています。
2. 本課程では、統合科目を履修し、また、他分野の基軸科目を履修することが可能であり、それによって多角的思考力や分析力を身につけます。
3. 本課程では、専門分野の基軸科目、展開科目を履修することによって専門分野における問題解決力、専門職としての実践力を身につけます。

博士後期課程

1. 博士後期課程には基軸科目、総合展開科目からなるカリキュラムが設定されています。
2. 本課程では、基盤科目の履修により、十分な学術専門知識および新たな知を創造する能力を身につけます。
3. 本課程では、統合展開科目により各研究分野で学術的な成果を上げるための実行力を身につけます。

＝ 学習成果の評価 (アセスメントポリシー) ＝

〈人文学部〉

人文学部としての学修成果の評価は、①学習時間・学習経験等に関するアンケート調査、②全科目を対象とする授業アンケート、③GPA並びに単位取得状況によって行います。

講義科目は、知識の習得に加え、論理的思考力、記述力、読解力、発言力について学期末試験、授業内で臨時試験、レポート提出、リアクションペーパーなどによって評価します。

演習科目は、広く社会に貢献するために必要となる専門の学生を知的かつ道徳的に理解し、応用する力について、論文やレポート提出、プレゼンテーションなどによって評価します。

〈人間文化研究科〉

博士前期課程

学修成果に対する評価は、以下の3点を総合的に評価します。

1. 履修した授業科目の成績
2. 提出される学位請求論文に係る研究発表
3. 学位請求論文

博士後期課程

学修成果に対する評価は、以下の3点を総合的に評価します。

1. 履修した授業科目の成績
2. 提出される学位請求論文に係る学内外での研究発表
3. 学位請求論文

＝ 入学者の受入れに関する方針 (アドミッションポリシー) ＝

〈人文学部〉

長崎純心大学は、キリスト教ヒューマニズムに基づき「知恵のみちを歩み 人と世界に奉仕する」を教育研究の指針としています。学力は豊かな人間性がそなわって知恵となり、人と世界に役立つとき、真の力となるからです。この指針のもと、本学人文学部は、文化コミュニケーション学科、地域包括支援学科、こども教育保育学科によって構成されています。

各分野において高い専門性を有し、人と世界に奉仕できる人間を育成することを使命とする長崎純心大学は、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえ、高等学校までに習得すべき基本的言語運用能力を身につけた以下のような*入学生の受け入れを目指しています。

注) ※は学科ごとのアドミッションポリシーを記載。

〈人間文化研究科〉

本研究科は、設置の目的と学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に基づき、次のような学生を受け入れます。

博士前期課程

1. 専攻する各研究分野について強い志向性と創造力のある人
2. 研究を遂行する上での基礎的学力を有する人
3. 外国人留学生の場合、研究等に必要な日本語能力を有する人

上記の人材を選抜するため本課程の入学試験では、提出された書類の審査及び個人面接による口頭試問を行います。さらに、臨床心理学分野においては、公認心理師として社会に貢献するために必要な心理学についての学部レベルの学力及び英語力を有する人を選抜するため、口頭試問に加え筆記試験を課します。

また、入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供します。

博士後期課程

1. 専攻する各研究分野に関する十分な学術専門知識を有する人
2. 学術研究能力があると認められる人
3. 外国人留学生の場合、研究等に必要な日本語能力を有する人

上記の人材を選抜するため本課程の入学試験では、提出された書類の審査及び個人面接による口頭試問を行います。口頭試問においては修士論文等や研究計画書を基にした質疑応答を通して、学術専門知識、学術研究能力、総合的思考力を判断します。

(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

学校法人純心女子学園第3期中期目標・計画（2015年～2021年度）において、**教育**「カトリシズムの建学の精神に基づき、ヒューマンズム教育とリーダーシップに努め、地域と世界に貢献し得る有能な人材を養成する。」、**研究・実践**「地域に根ざした研究・実践と、世界に通じる独自の研究を推進する。」、**地域貢献**「平和の証を受け継ぎ、地域と共に未来を見据え、地域貢献に邁進する。」、**管理運営**「学園のガバナンスに則り、改革改善に努め、経営の責務を果たす。」、**財務**「定員確保による安定的財源と外部資金獲得により、財政基盤の強化を図り、教育費・研究費・人件費のバランスを保つ」の5項目を掲げ、常任理事会及び理事会・評議員会等において、定期的に点検・評価を実施した。

2020年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業所における事業計画の多くが実施困難となった。

(3) その他

2020年度における各事業所における主な活動は次のとおりである。

長崎純心大学

1. 教育・研究

- ① 4月下旬は、新型コロナウイルス感染症による全国的な緊急事態宣言により、対面による授業をとりやめた。5月7日以降は、遠隔講義を併用しながら対面授業を実施した。
- ② 2018年度より人文学部の基礎科目として「純心の継承と開発Ⅰ」及び「純心の継承と開発Ⅱ」を設定した。これを基礎に、純心聖母会のシスターが作ってきた伝統のアップルパイやクッキーなどを学生が継承しながら、純心ブランドのグッズを作成している。2019年に長崎市交流の産業化リーディング事業に認定され、この授業を履修した学生を中心に「パティストリー純心」として活動を開始した。2020年11月28日と29日には、旧出津救助院においてアップルパイを販売した。ネットによる事前予約では受付開始から20分足らずで完了した。
- ③ 法改正に伴い、社会福祉士及び精神保健福祉士に関する人文学部地域包括支援学科のカリキュラムの改正を行った（2021年4月1日施行）。
 - ⑤ 長崎大学医学部との教育・研究の連携では、第8回長崎地域医療セミナーin GOTO、Summer Camp 2020 in Hirado をリモートで実施した。

⑥ 科学研究費補助金は、基盤研究（B）2件（新規・継続）、学術変革療育研究（B）1件（新規）が採択された。学内共同研究においては、1件の研究が遂行された。

2. 学生・キャリア支援関係

- ① 2020年度入学生より開始された高等教育修学支援制度に対応した。
- ② 4月6日より、長崎バスの時津⇄長崎商業⇄恵の丘の運行が開始された。
- ③ 4月1日の入学式は、午前文化コミュニケーション学科と地域包括支援学科、午後はこども教育保育学科と大学院に分かれ、ソーシャルディスタンスを保ちながら、挙行了。また3月18日の卒業証書・学位記授与式も二部制で行い、感謝ミサを捧げられなかったものの、浦上カトリック教会で挙行了。
- ④ 後援会の支援により5月7日から6月30日の間、貸切バスを2台（浦上駅前発・住吉発）を運行した。
- ⑤ ラウンジ（学食）、パティオ、図書館等において、席数を減らすなど感染予防対策を実施した。
- ⑥ 小学校教員採用試験にこども教育保育学科の学生が15名合格した。
- ⑦ キャリアフェスタを12月7日から12月11日まで実施した。
- ⑧ 創立記念行事は、古巣馨教授が放送を通して記念講話を行った。

3. 教職員研修

- ① 8月19日にリモートによるSD研修会を実施した。
「事務組織再編から大学改善へー本学の現状と今後の課題について」 久保田事務局長
- ② 3月11日にリモートによるFD研修会を実施した。
「ハラスメントについて」 山下肇法律事務所 山下肇弁護士

4. 入試広報活動

- ① 2020年度は人文学部の入学定員280名に対し、文化コミュニケーション学科100名（男子19名、女子81名）、地域包括支援学科104名（男子26名、女子78名）、こども教育保育学科133名（男子24名、女子109名）、計337名（男子69名、女子268名）が入学した。
- ② 例年、一回につき100名を超える大規模なオープンキャンパスを数回実施していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、「Webで見るOPEN CAMPS」としてホームページで動画を配信した。また、「Jツアー」と銘打って各回20名までの参加による小規模なオープンキャンパスを14回実施した。
- ③ 長崎総合科学大学附属高等学校（7月15日）、長崎県立諫早特別支援学校（10月2日）、長崎県立長崎鶴洋高校（10月12日）、聖和女子学院高等学校（12月4日）、長崎県立諫早東高等学校（12月7日）の生徒及び教職員が訪問し、大学の学びを体験した。
- ④ 入学試験における五島試験場を廃止したことに伴い、「長崎純心大学長崎県内離島地区受験者に関する交通費及び宿泊費補助規程」を制定した。

5. 施設整備・改修

- ア 空調設備工事（ひまわりカフェ） イ トイレ改修工事（F棟・C棟・L棟）
ウ 職員宿舎耐震工事 エ LED取替工事 オ Junshin Vision再構築

6. 生涯学習及び地域貢献・地域連携

- ① 年度初めに生涯学習センターや学科を中心に計画した公開講座等は、一部を除き多くを中止した。
- ② 地域連携センターにおいて、カウンセリング、訪問相談等カウセンリグ業務を実施した。
- ③ 聖母の騎士高等学校から生徒1名をインターンシップで受け入れた。
- ④ 教員免許状更新講習を12日間にわたり、25講習を実施した。
- ⑤ 長崎純心大学博物館では5件の企画展示を行った。
「長崎のビードロ展」（2020年5月27日～6月30日）
「被爆75周年 純女学徒隊と原爆展」（2020年7月13日～8月29日）
「塩月悠作品展」（2020年10月12日～11月20日）
「世界のクリスマス展」（2020年11月27日～2021年1月13日）
「春の訪れ 長崎の美術工芸展」（2021年3月3日～4月16日）

7. その他

- ① 業務内容を見直し、課・室の改廃を行い、事務組織の改編を実施した。
- ② 3月29日に第1回目の「長崎純心大学名誉教授称号授与式」を挙行了。
名誉教授称号授与者：片岡千鶴子、塩崎弘明、松川暢男、越中哲也

純心女子高等学校・純心中学校

1. 教育活動

1) 令和2年度の教育目標 「点と点をつなぐ」

- ・心を一つにする（マタイ 18. 18～20）
- ・「同じ」と「変化」に気付く
- ・目標に向かって進む

2) コロナ禍における教育活動

①休校中の ICT 機器利用による学習及び家庭、個人との連絡

②三密を避けての学校行事の縮小実施と延期及び中止

- ・縮小 入学式／オリエンテーション／聖母祭／校内球技大会／学園祭／クリスマス会
卒業式
- ・延期 中学修学旅行（21. 12 月）
- ・中止 遠足／体育大会／創立記念ミサ／高校修学旅行
テレサ高校（韓国）交流／パースホームスティ（オーストラリア）／国際教育における様々なイベント

③高総体、県の中総体の中止、体育・文化会系部活動の上位大会中止

3) 探究活動

①「学校カパワーアップ 私学実践支援事業」の補助を受け、中学1年アドバンスコース探究「住み続けられる長崎」を実施

②高校Ⅰ、Ⅱ類コースの探究活動の継続、教員の学び

③高校Ⅰ年生全クラスによる探究活動

4) 平和教育

①世界平和のためのロザリオの祈り（1連のみ）の継続と「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」の実践

②8月9日「被爆75年長崎原爆犠牲者慰霊平和式典」（長崎市主催 於：平和公園）が縮小され、高校音楽部が「千羽鶴」を合唱

③8月9日本校における「原爆慰霊祭」 ミサは教職員のみ、墓前祭は係生徒と教職員のみで実施

2. 総評

新型コロナウイルス感染予防対策に対応をしながらの一年間であった。やむを得ない休校、校内・校外諸行事の縮小、延期、中止といったこれらの措置は、生徒たちの日常の努力に対して残念で悔しさを残すものになった。このような現状は誰もが初めて突きつけられた課題であったが、そういう中で生徒たちは、無限な発想で ICT 機器を器用に使いこなし、新しいものを作り出してきた。学園祭においては三密をいかに避け、ステージに立てないところをどのように超えていくか、その実践力に大きな感動を覚えた。これにできるだけのことをさせたい、してあげたいとの教職員の思いとが重なり、生徒数減少の現実課題を抱えながら、生徒たちの学校に対する満足度を上げる意識で取り組んだ一年となった。

これまで培ってきた探究活動を学年全体で取り組むことを始め、入試にもプレゼンテーション型を導入し、学校側の姿勢を知らせた。

幼保連携型認定こども園長崎純心大学附属純心幼稚園

1. 定員 250名

園児数状況

幼保連携型認定こども園 長崎純心大学附属純心幼稚園	定員	2020. 5. 1 現在	備考
	250	229	

2. 保育・教育目標

神様の似姿に創られたいのちを大切に、神様にも人にも喜ばれる人を育てることを目指して教育保育に努めた。毎日の教育保育の示唆として“私たちにできること”をテーマに掲げ、自分にできる純心教育の在り方を研修し現場で実践に努めてきた。

3. 教育・保育内容

- ① 神さまの似姿として創られたいのちを大切に、人に対する愛情と信頼する心を育てることを目指した。
- ② 一人ひとりの家庭環境を見極め、教育と養護のバランスに配慮しながらモンテッソーリ教育の充実を図る。
- ③ 子どもの様々な内面の要求を満たし、モンテッソーリ教育を通して宗教・体育・絵画・音楽を通して生命の保持および情緒の安定を図った。
- ④ 基本的な生活習慣や言葉を身につけ、一人で出来ることに喜びを持てるように自立を促した。

4. 給食の実施状況

- ① 毎月1回の給食検討会を持ち、年齢に応じた配膳、行事食、個別の対応を検討した。
- ② アレルギー体質の子どもへの対応は、栄養士と保護者との個別面談を実施し医師の診断書のもとに「アレルギー除去食依頼書」を提出していただき事故のないよう全職員に周知した。
- ③ 愛情弁当の日を毎月土曜日を含め3～4回程度。毎年1学期に計画していた年少児保護者対象の試食会はコロナ禍のため中止。年長児のクッキングでは食材準備を通して食育に繋げることが出来た。

5. 教職員研修

- ・キャリアアップ研修該当者の16名は、Web研修のためまとめて5名ずつが受講開始した。
- ・モンテッソーリ教育体育コース受講は見送り、研修に2名が一度参加することが出来た。
- ・未満児のアシスタントコース・ワークショップはコロナ禍のためZoom研修となったが、日程の調整が出来ず今年は見送りとなった。
- ・以上児のモンテッソーリ教育は純心大学の養成コースと外部の研修情報を共有し、短時間で園内での学びを深めた。
- ・モンテッソーリ宗教教育研修会も中止となったが、情報共有を継続して園内研修に繋げた。

6. 小学校連携

- ・小学校との交流会は、感染防止のため情報交換をビデオや手紙などで行い子どもたちからも卒園前に小学校へ返事を届け学校の雰囲気を知ることができた。
- ・困り感を持つ子どもたちに対しては巡回相談や小学校との担当者と要録と併せて電話連絡をとり、入学式を安心して迎えることができるよう専門機関の指導を受け連携を深めた。

7. 長崎純心大学との連携

- ・毎年行っているこども教育保育学科の塩月先生のゼミ生と活動も今年はコロナウイルス感染拡大防止のため実施を検討しながら一年を終えた。
- ・幼稚園実習の受け入れは、長崎純心大学のモンテッソーリ教師養成コースの学生と他県からの実習生の受け入れもコロナウイルス感染拡大防止を念頭に置きながら慎重に可能な限り対応していった。

8. 純心聖母会との連携

- ・純心聖母会主催のみ言葉の分かち合いや黙想会に、職員が自由に参加できるよう声掛けを行い保育の助けとなるよう促した。
- ・純心宣教センターのスタッフには、要理の勉強を希望する保護者や教職員に対応していただき純心幼児教育の使命を共に担っていただいた。
- ・保護者向けの宗教勉強会（カンターボ）は、4月からコロナ禍のため年間を通して集会の形はとらずアプリでお知らせ資料配付を行い子育て世代の保護者支援と宗教教育への理解に繋げてきた。

9. 苦情解決第三者委員

苦情受付件数は、一年間を通してなかった。

10. 施設整備修繕及び修理

- ・除菌洗浄水生成器購入 9月
- ・避難車入れ替え 2台 10月
- ・台風10号被害修理工事 10月～12月
- ・純心こども図書館 クロス張替工事 11月

11. 総括 2020年度の主な実施事業予定について

0歳から3歳担当の保育教諭が昨年外部の研修に2名参加したことで研修意識の高まりに繋がったことから、未満児は4年計画の食育の環境の見直しを行った。以上児クラスは、編成は行わず持ち上がりで3年目のクラスに配置となり、コロナ禍の中にも年齢別のクッキングを行い食育に繋げた。

緊急事態宣言の期間中は、4月5月と通常保育を行うことが出来なかったが、ブログ配信や制作キッドを郵送し家庭保育と保護者支援を行った。宗教教育のプログラムは体系化され純心教育の特徴として、今後もモンテッソーリ教育の宗教教育を通して教育保育の充実を図りたい。

課題として、2019年から4年保育（満3歳入園）思考になり、満3歳児の入園希望者が2歳から待機している状態となっていたことから、満3歳児クラスと併せて子育て応援部の“さくらんぼ組”の保育教諭を増員し充実させた。2020年度は1月には定員250名を超えての運営となり、未満児から以上児クラス編成や環境構成の見直しを行い利用定員250名から230名の変更を長崎市に申請し認可された。

今後は満1歳児から満2歳児を対象の子育て世代の保護者支援とその社会ニーズに対応できるよう教職員で研鑽していく必要がある。また、今年はコロナ禍のため、実体験の不足から園児の体幹の弱さが目立ち日常生活と外遊びと体育指導の在り方を再検討する課題が残っている。